

『実践イラスト 脳神経外科手術 100』 (電子版)

著：加藤 甲



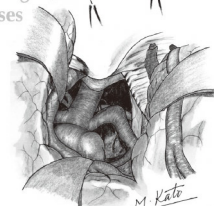
野田 公寿茂 社会医療法人 嶺心会 札幌嶺心会病院 脳神経外科

実践イラスト 脳神経外科手術 100

加藤 甲 Masaru Kato

脳動脈瘤 脳動脈瘤奇形 脳腫瘍 微小血管減圧術 脊髄・脊髄手術 など100例

Practical Illustrations of
Neurosurgical Procedures:
100 Cases



三輪書店

1. 内容概要

『実践イラスト脳神経外科手術 100』は、加藤甲先生が豊富な臨床経験を基に厳選した100症例を、詳細なイラストとともに紹介する一冊です。読み始めてすぐに、若い頃にぜひ手に取りたかったという思いが湧きました。Skillful neurosurgeonを目指す若い脳神経外科医にとって、非常に有益なリソースとなるでしょう。

加藤先生は「地方の医科大学や関連病院の臨床最前線で奮闘した記録の一部」と謙遜されていますが、実際には「過酷な臨床の第一線で活躍し続けた脳神経外科医による最高峰の臨床記録」です。1979年に金沢医科大学に入局し、1996年に開業するまで、スケッチブック30冊、400症例分の記録が詰まっています。

2. 本書の魅力

序章は特に秀逸で、日々の業務の作法について、加藤先生が実臨床で実践されてきたルールが書かれています。働き方改革や権利意識の高まりの中で若い先生方に指導しづらいことが要点を絞って述べられており、現代において忘れてはならないことだと感じました。イラストを描く意義、手術記録作成に関する所感、イラストの描き方の工夫、ノウハウについても詳しくまとめられています。ここまで適確に要点を言語化されたものを目にしたことはなく、加藤先生の臨床にかける情熱が伝わってきます。

印象に残った症例として、Case 9「Is aneurysm clipping consistent with the surgeon's image?」や Case 21「Aneurysm reruptured 14 days after clipping surgery」では、動脈瘤術後に経験した再出血例が率直に提示され、後進

への真摯なアドバイスとなっています。Case 34「Immature first illustration in my surgical record」では、1988年の筆者第一症例のイラストが紹介され、一生懸命に解剖を理解しようとする意気込みが伝わってきます。

全体として、Case 52までの動脈瘤症例に加え、AVM、聴神経鞘腫、髄膜腫、下垂体腺腫、頭蓋咽頭腫、その他の腫瘍、微小血管減圧術、脊椎手術、CEA、さらにはキアリ奇形まで、幅広いレパートリーが提示されています。これらは、経験することの少ない症例も含まれており、イラスト表現の参考にもなります。

3. これから購入を検討されている先生方へ

まず序章を深く読み込むことをお勧めします。序章には、イラストを描く意義や手術記録作成の所感、イラストの描き方の工夫、ノウハウが詳細にまとめられており、特に若い先生方にとって非常に有益な情報が詰まっています。また、シニアの先生方にとっても、まさに伝えなかったことが言語化されており、指導に役立つ内容です。

4. 結論

『実践イラスト脳神経外科手術 100』は、脳神経外科医にとって非常に価値のある手術書であり、解剖学的に正確なイラストと詳細な解説が、手術の理解と実践に大いに役立ちます。内容は価格以上の価値があり、脳神経外科の臨床現場で活躍する医師にとって、必読の一冊です。

A4 172頁(電子版のみ) 2024年4月 定価: 11,000円
(本体 10,000円+税 10%) 三輪書店刊 [ISBN978-4-89590-817-7]